

社員を集めれば、企業の社員定着率が向上して、経験を積んだ社員の確保にもつながると思います。

週末休日の二日間を家族と、200坪の土地を十年後二十年後を想像して畑や植樹をしながら過ごす楽しみを味わえます。何も、休みの日に子供をデイズニーランドや遊園地に連れていく浪費もなく有意義に過ごせるのです。

都会での単身赴任は、食べ物や洗濯など大変だと思われませんが、都会では夜中でも食いはぐれることはありません。都会は今まださすがに便利です。

男は一生懸命働いて妻子を養うのがカミサマから授けられた男（オス）の宿命なのです。

家庭での切り盛りは妻（女）の役目なのです。そしてその能力は男と比べてはるかに優れているのです。勘違いしている男女も多いようですが。

女の役目は、今は何故か嫌われている「専業主婦」ということです。なぜ「専業主婦」という言葉が出来

たのかわかりませんが、響きが悪いですね。きっと「掃除洗濯飯炊き、あとはオヤツをポリポリ食べながらテレビで韓流ドラマ」だけが主婦の一日と勘違いしている人たちなどに影響されているのです。

主婦の役目を自覚している女性のいる家庭は、子供の非行や家庭の崩壊など、知る限りありません。父親が馬鹿でも母親の賢い家庭の子供は、大人になればそれなりに自立しています。

戦後、高学歴の女性も増えました。しかし、学んだことが子供たちに母親からは伝わっていないようです。その原因は、教育は学校や塾がするものだと思うている（思わされてきた）からです。

今の学校に、子供を教育する能力のある先生は少ない。未だに自虐史観をもとに、占領地政策をする手先になっているのです。そして不幸なことに、その自覚は先生たち本人にはないのです。

こんな教育（教育とは言えませんが）から子供たちに